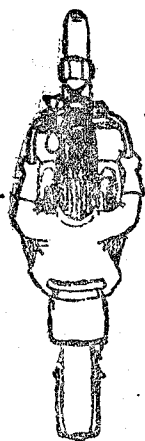


# 通信

## ○巴里だより



田中編輯主任幹事足下

君と東京驛で別れてより早や十ヶ月、北の空も春を迎へて活氣を呈し漸く柳の芽だつ頃となつた、幸に小生も研究慾にかられて東奔西走して居るが各國の現状を觀我國の狀況を想ふて聊か悲觀せざるを得ない。今少し我國道路界を覺醒せしめ少くも二十世紀の歐洲文明に遅れざらむことを希望して已まない、幸ひ東京市の道路局へは牧博士が就職せられたと言ふ報導を得たから、僕が歸朝する頃にはさぞ東京市の惡路も面目を一新して居ること、信するが、東京市の政界は随分困

難なことがあるやうに聞いているから、何んとか牧博士に聲援して同博士が思ふ存分手腕を振ふやうに盡力して貰ひたい。僕は本月始めルクサンブルグに立寄り、製鐵事業を視察してライン河沿岸のラインランドを調査し、伯林に行く豫定である。同地の滞在は非常に八ヶ間敷と聞いて居るが、若し滞在の許可が容易に得られたならば暫時滞在し充分調査する考へである。巴里に於ても不自由な言葉を使つて名士の訪問から實地の調査を遂げ相當の材料を蒐集したが、旅行に逐はれて之を報導する時間を持たないのを遺憾とする。

内務技師 三浦七郎

左に小生の手寫したものに説明を加へて通信の代りとするから幸に寛恕せられむことを望む。

(1) シャンゼリゼー街

第一圖  
第二圖  
參照

コンコルドの廣場から有名な凱旋門に至る間約一哩四分一の街路で、昔は巴里市外にあつてセーヌ河の氾濫區域であつたが、一六一六年より植樹を始めて一六七〇年に完成し、始めてグランクールの遊歩場として著名となつた、其の後一七六四年頃より再び道路の勾配を直し樹木を移植して巴里隨一の大通りとなつた今では其の兩側に大厦高樓軒を並べて最も贅澤の商店、ホテル、カウフェー、レストラン等が集つて居る、巴里の中心と謂はれたオペラ附近の繁榮も今では段々此の街に奪はれかゝつて居る、幅員七〇米、内車道は二七米で木塊鋪裝が施されてある、朝夕のラッシュ



(1) Avenue des Champs-Élysées Paris

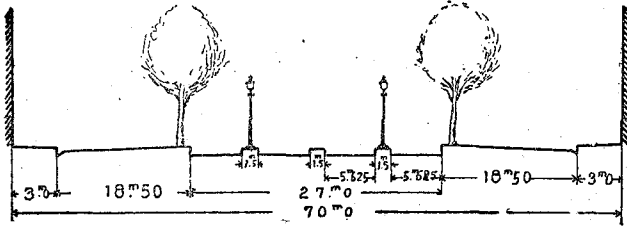
アワーに自動車が快速力で絡驛として走るのを凱旋門より見る時は實に偉觀で恰も糸を曳いた様で少しの切れ目も無い位に續いて居る、夫で一方より他の側に横切るのは中々困難であるから(2)の様な信號標が數個所に建設せられて居る、上の札には歩行者は此處で此の大路を横切れと書いてあるから自動車も此の札の立つた所では自然左右を注意し速度を緩めるから安心して通行することが出来る、此の大通りの附近には大統領の官舎を始めグランバレープレツチーバレー冬のスケート場子供の遊び場もあつて春先から秋にかけては互に手を取り合つた散歩の人々でサシモ廣い兩側の歩道も埋まつてしまふ位である、さすがに世界一の大街である、日本の大使館は凱旋門の附近にあり日本人の能く宿るア

世の一八〇六年に起工し、ルイフィリップの一八三六年に完成し、九百萬フランの工費を投じた巨大の建造物である、一居る。九一九年六月十四日には獨逸軍を征服した佛軍が意氣揚々と此の門をくゞつてシャンゼリゼーを通り巴里に凱旋して一八七一年の耻を雪いだ所である、門の下には此の世界大戦に死んだ無名の士を祭つてある。

(3) 停留場 (第三圖)

電車及乗合自動車の停留所には、其處を通過する電車の番號と自動車の記號とを示した板が、ガス燈の柱に付けてある、此の寫眞に示したのは自動車の停留所だから自動車の記號を示してある、此の板の下には、小さな紙片に自動車の記號と番號とを書いて自由に取る様になつて居る、自動車が進み合ふ時は車掌が番號を読み上げるから其の番號札を持つた者が順序に乗車出来るので札を持たないものゝ割り込みは許されないから、東京の様強い者勝ちで乗る譯に行かない、又此の横には何の記號の自動車は何々個所

Avenue Des Champs Elysées



(4) 乗合自動車 (第四圖)

此の寫眞は三十八人乗の自動車で前が一等後が二等である、他に三軸の自動車があつて之は四十八人乗となつて居る前は運轉手臺で後が車掌臺で其處から乗降する様になつて居るから東京の如き横に乗降臺があるのと違つて中々飛び降り飛び乗りが困難である。自動車内の坐席が満員となれば内に入る事が出来ないが車掌臺の處に七八人位は立つて居ることが出来る。實に緩くりしたものだ、始發停留場では例令澤山の人が待つて居ても決して満員になるまで乗せないで少しの空席を残したまゝ出發して途中から乗る人の便宜を計つて居る。是は非常に都合良い方法で來る電車も來る電車も満員で何時までたつても途中から來る人は乗れないなんかと云ふ事が無い様に規定されてある。今巴里には千三百臺の乗合自動車がある。

(5) 電

車

(第五圖 參照)

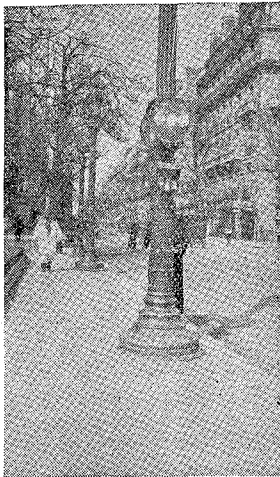
五十人乗りとか五十七人乗りとがあつて主要の線路には二車連結をして居る、シヤンゼリゼー、オペラ、及グランブルバーと呼ばれる、目貫の大通には自動車だけで電車は敷設されてない、全體で二千六百臺の電車が巴里市内及郊外に動いて居る。

賃金は區間割になつて居て一區一等は四十五サンチーム(約六錢五厘)二等は三十サンチームで、二區になると一等は六十サンチーム二等は四十五サンチーム、是以上は一區を増す毎に一等は十五サンチーム二等は十サンチームを増加することになつて居る。

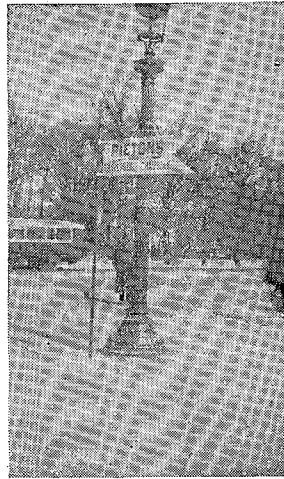
(6) オペラの前

(第六圖 參照)

コンコルドの廣場及び他の最も混雜する交叉點の所には



(3) Avenue des Champs-Elysiacs



(2) Avenve des Clamps-Elysiacs

朝夕のラッシュアワーだけ騎馬巡查が来て交通整理をなし

て居る、丁度倫敦のピカデリーサーカスの所と同一である、普通の時は各交叉點に巡查が立つて棒を持ちながら整理をなして居るが、倫敦の様にうまく交通整理は出来て居ない、昨年の秋巴里の警視廳より態々倫敦の交通整理を視察に来て仲々其のうまく行き届いて居る事に感心して歸り、巴里も倫敦の様にしなくてはならないと云つて居つたけれど、實際には甚だ困難の伴ふ問題で、容易に實現が六つかしいと見え今に倫敦程に成功しない様である、少し巴里にも慣れると左迄でもないが倫敦から來たときは街燈の暗いこと、(夫でも自動車はヘッドラシイなしで走れるが)交通整理が充分でないため

に街路を横ぎるときは命がけの氣持になつて當所は散歩するのにも厭になる位であつた、自動車の速度は倫敦より非常に速

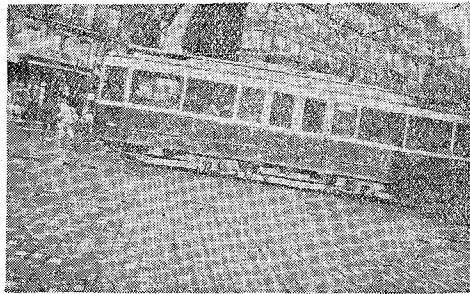
いが運轉手は實に熟達したもので飛行機を始め機械の操縦には天才的であらふと感心せざるを得ない。

(7) オペラ劇場前の廣場 (第七圖 参照)

交通整理の困難なること世界一と呼ばるゝ所である。倫敦や紐育にも其の例を見ない様に澤山の街路が集中して最も混雑を來たして居る、五つの街路の流れがグランブルヴァールと呼ばるゝ本流に流れ込んで居るが、此の五つの流れも巴里では最も車輛の利用の激しい道筋であるから夫等が集つた此の廣場の混雑の名



(4) Bd St.Michel



(5) Bd St.Germain

勿論、之を始發點とする數多の電車があるので此の廣場の交通は益繁激を加へて居る、廣場附近には三越の様な百貨店や贅澤品の店舗、洋食店カフェー其の他多數の商賈等が櫛比してゐるから歩行者の數も巴里一となつて居る從て色々の危険

も伴ふので電鈴の信號標が建てゝあつて其の鈴が響く毎に交通を交替に止め或は進めることが出来る様に裝置されある。夫でも尙充分でないので此の大混雑を最も迅速に且つ容易に緩和する方法が常に考究せられつゝある。

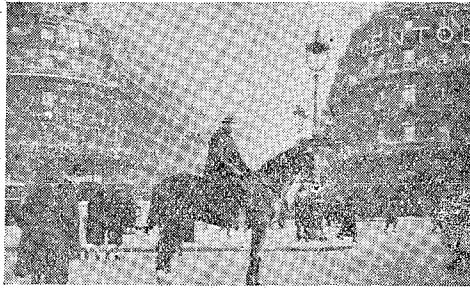
(附)

巴里市内の道路面積は千七百ヘクターで内歩道は約七百ヘクター車道が千ヘクターである、或る町の歩道での觀測に依るとラツシユアワーに約五十萬人の歩行者があり車道を走る車輛の數は最も多い時に一日自動車が一萬五千(内九千はタキシ)馬車が一萬八千、

狀し難いことは大抵想像に余あることと思ふ、夫で此の廣場の周圍にある街路には特に一方のみの交通を許してある、他にも交通の盛なサンラーザル停車場マドレンヌ、バイルール等があるけれど一方向の交通は許されてない、自動車は

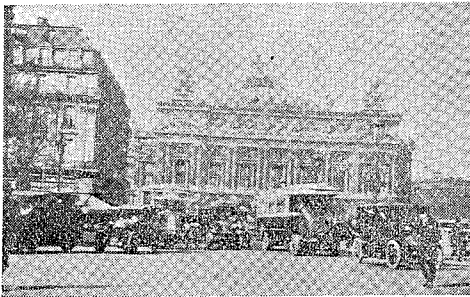
乗合自動車が九百五十、電車が千二百、自轉車が一萬八千、其の他の車が五萬臺であつた。こんな風に發達して居るが今から百年以前の千八百二十五年頃は車道のみで歩道は勿論排水設備等も實に不完全なものであつた。千八百三十年頃雨水の排除を便にする爲始め下

路面に蒲鋒形を附する様になり同時に車道の兩側には下水を掘つて一米位のガツターストーンを置き之と家屋との間が歩道を形造ることゝなつた。千八百三十八年頃より人造瀝青で舗裝をなし千八百五十五年頃始めて一小區域にアスファルト舗裝を試みることゝなつた近來は舗裝材料も急激の騰貴をなして木塊舗裝は一平方米に付千九百十四年には僅かに二十二フランであつたのが十年後の千九百二十四年には九十九フランに騰貴した、昨年舗裝の修理に費せし工費は車道の二十萬平方米に百萬フランであつた。倫敦や紐育は巴里に比べ



(6) Opera a Paris

ると約二倍の車輛を有してゐるが、道路面積は其の約五倍に達して居る。倫敦には縦横に大幹線があり紐育には主として縦の方向に十本の動脈を有して居るけれど巴里には大動脈としては僅かに東西の方向にはグランブアル、リヴォリ



(7) Opera a Paris

ー、キエイの三線と南北にはレエストの停車場からモントルージュに至る一線を有するに過ぎない其の結果他の二大都市と比較しても交通が最も混雜して其の整理には少からず苦心を拂はねばならぬ位地に置かれてある。

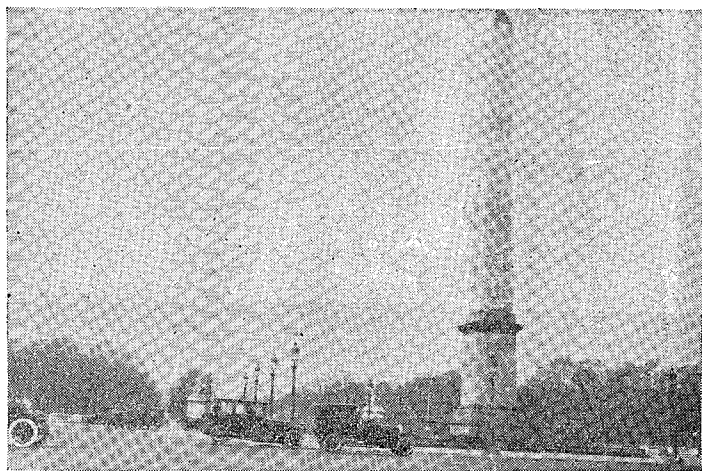
### (8) コンコルドの廣場

(第八圖参照)

世界で最も廣い最も美しい廣場であるがルイ十五世の時代に巴里市外に始めて造られたから其の名を取つて且つ千七百六十三年には其の銅像が建設せられた。千七百七十年にマリーアントワネットの結婚祝宴の際狼煙が群衆の上に落ちて千

二百人は殺され二千人は負傷するの慘事が出来た。千七百九十二年にルイ十五世の銅像は自由の像に依つて置き換へられ其の名も革命の廣場と改正せられたルイ十六世は千七百九十三年一月廿一日此處でギロチンにかけられ千七百九十三年五月から千八百九十五年五月に至る間に約三千の人々が同じ運命に逢つた所で内にはマリーアントワネットダントンエリザベスロベスピエール等もあつた千七百九十五年即ち恐怖時代の最後に現出のコンコルドと改名せられ千八百十五年には英軍が千八百七十一年には三日間獨逸軍が陣營を張つたと云ふことである。

巴里では交通整理のために色々の方法を取り且つ各種の施設をなして居るが其の内、凱旋門、コンコルド及バスチルの廣場の如く一つの廣場に數多の幹線支線の道路が集中して居る所には廻轉交通の方法を採用して居る或る道



(8) Place de la Concorde a Paris

距離があつても夫を通る事は出来ないで廣場の中心（此處には凱旋門の如きものや、銅像、記念碑見た様なものが置かれてある）を廻轉しながら必ず右側通行（巴里市では全部右側通行である）をなして目的の道路に入らねばならないから或る場合には殆んど半圓或は甚だしきに至つては全圓を一廻轉する様なこともある然し是がため交通は非常に圓轉滑脱になつて如何にも愉快に迅速に自動車特有の速力を出して走ることが出来る。